２０２２年度

日本学生支援機構奨学金 説明資料

大 学 院 生

貸 与 奨 学 金 申 込 用

＜二次採用＞

２０２２年９月

琉球大学 学生部 学生支援課 奨学係

大学院生の奨学金申込みについて（留意点）

【貸与奨学金】

日本学生支援機構（以下「機構」といいます。）の貸与奨学金は，勉学への意欲と能力のある学生が，経済的な理由により修学を諦めることのないよう支援することを目的とした国による制度です。

貸与奨学金は返還義務があります。返還された奨学金は，後輩学生の奨学金に活用される仕組みとなっています。

【学部生の奨学金との相違点】

(1)「家計基準」は，父母等の年収ではなく申請者本人の年収を基準とします。

(2) アルバイト収入について，前年から変動がある場合は，本年と両年分の年収を確認します。
なお，申請者に配偶者がいる場合は，配偶者の定職収入も確認します。

(3) 特別控除の制度はありません。

(4) 長期履修生として研究科で認められた学生は，貸与期間を確認しますのでお申し出ください。

(5) 業績優秀者返還免除制度
大学院第一種奨学生は，在学中に優れた業績を挙げた場合に返還額の全額又は半額が免除される制度があります。詳細は学生生活支援情報ホームページ「奨学金」をご確認ください。
※ 博士課程の奨学生は入学後に「採用時返還免除内定制度」へ申請できます。

【留 意 事 項】

(1) 提出書類は「期限厳守」

機構への推薦手続の日程上，募集開始から申込書類の提出（受付）までの期間が非常に短くなっています。必要な証明書類は早めに取り寄せてください（特に県外出身者は留意）。

(2)「個人信用情報の取扱いについて」

機構は「個人信用情報機関」に加盟しており，奨学金申込時に「個人情報」の登録・提供に同意する必要があります。奨学金の返還を延滞した場合は，個人情報が「個人信用情報機関」に提供・登録されクレジットカードの利用停止や融資が受けられなくなります。また，延滞が長引く場合は法的措置が取られます。

(3) 機構の奨学金は日本人学生が対象

外国籍の方は，在留資格によって申込資格がある場合があります。在留資格の記載がある書類を学生支援課の奨学金窓口へ提示し，申込資格を満たしているか確認してください。

外国人留学生対象の奨学金については，国際教育課で担当しています。

(4) 大学からの呼び出し（電話等）には必ず応じること

奨学生に採用された者は，奨学金に関する説明会に毎年参加し，必要な手続（書類の提出等）を速やかに行ってください。これを怠ることで奨学生の資格を失い，受け取った奨学金の返還を請求される場合があります。

また，大学のホームページや掲示板を普段から確認し，大学からの呼び出し（電話，メール等）には必ず応じてください。

≪お問い合わせ≫　琉球大学 学生部学生支援課奨学係（共通教育棟１号館１階）
〒903-0129　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
TEL：098-895-8136（平日 8:30～12:00，13:00～17:15）

≪奨学金に関する情報≫

琉球大学「学生生活支援情報」ホームページ

日本学生支援機構ホームページ

奨 学 金 の 申 込 手 続 き

1．配 付 資 料

⑴「2022 年度 在学者用 貸与奨学金案内（大学院）」（機構の募集案内）

⑵「2022 年度 日本学生支援機構奨学金説明資料 大学院生（貸与奨学金申込用）」 本冊子

※ ⑴は綴じ込み資料あり。紛失しないように留意。

2．奨学金の概要

⑴ 貸与月額等（募集案内６，７ページ参照）

第一種奨学金（無利子），第二種奨学金（有利子）

※ 第二種の金利は，「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択してください。

⑵ 申込区分

スカラネット入力下書き用紙 3 ページの「C-奨学金申込情報」参照（募集案内 23 ページ参照）。

※ 第一種及び第二種の両方を受ける場合（併用貸与）は，返還総額が多額となるので慎重にご検討ください。

⑶ 入学時特別増額（有利子貸付）（募集案内 10，25 ページ参照）

二次募集は，お申し込みできません。

⑷ 奨学金の申込条件

① 過去に他の大学院に在籍し機構奨学金の貸与を受けた者が再度入学した場合，希望する奨学金は貸与期間に一定の制限があります。詳細はお問い合わせください。

② 現在，留年中の者は申込み資格がありません。

⑸ 家計基準（募集案内９ページ参照）

本人及び配偶者（配偶者は定職収入がある場合のみ）の 2021 年分（1 月～12 月）又は 2022 年分（1 月～12 月）の収入金額が，所定の収入基準額以下であることが条件となります。

※ 社会人学生（社会人経験者含む），配偶者（定職者）がいる学生，医学研究科生（医師）等は収入基準額について特に留意してください。

※ 年間を通してアルバイト等がほとんどない場合等は，「父母等からの給付額」，「奨学金」及び「預貯金の取り崩し」状況等についても確認します。

※ 自宅通学者（父母と同居）の場合，年間の家族全体の食費や生活費のうち，本人分の概算額も「父母からの給付額」に含めます。授業料や入学金等も親が支払っている場合も「父母からの給付額」に含めます。

３．申込み手順

(1) 申込書類の作成等　　次頁「５．申込書類一覧」参照

① 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書（募集案内から切り取り）
　※ 本人が自署してください。
②「貸与月額」,「利率の算定方法」,「振込口座（本人名義）」の決定（通帳の写しの準備）
③ 収入計算書，アルバイト等収入状況申立書（大学院様式２）
④ スカラネット入力下書き用紙
⑤ 大学院奨学金申請者学業成績確認票（大学院様式４）

(2) 申込書類の提出　　学生部学生支援課奨学係（本ページ下部参照）

(3) 申込書類の確認

学生部学生支援課奨学係において確認
① 不備がある場合　　電話又はメールで連絡
② 不備がない場合　　後日，メールで「識別番号（ユーザーID・パスワード）」を送付

(4) スカラネット（インターネット）入力

「識別番号（ユーザーID・パスワード）」を使用し、申込者自身がスカラネットを入力
① 入力時に迷わないように「スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】」を記入（入力時間に制限あり）
② 入力完了時に「受付番号」が表示されるので，「スカラネット入力下書き用紙」に転記

(5) 大学から追加の提出書類の指示

事情に応じて，必要書類の提出を求める場合があります。

４．提出期限・提出先

(1) 提出期限　　2022 年１０月１７日（月）期限厳守

(2) 提出時間　　平日 8:30～17:00（12:00～13:00 を除く）

(3) 提 出 先　　琉球大学 学生部学生支援課奨学係（共通教育棟１号館１階）窓口横の提出 BOX
〒903-0129　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
TEL：098-895-8136

※ 全ての書類が揃っていない場合でも，提出期限までに提出できる書類を提出してください（不備書類の提出期限は改めて設定。事前連絡なく遅れた場合は受付しません）。
※ 活動制限レベル３以上の場合は，追跡機能がある郵便で「奨学係宛」に郵送してください。
※ 例年、提出期限間際の申し込み”が多く見られます。この場合，不備や書類の不足があると申請に間に合いません。余裕をもって書類を準備してください。

5．申込書類一覧

申込に必要な書類は，下記表及び募集案内を参考に十分に確認してください。
「申込書類の提出」→「不備確認」→「「識別番号（ユーザーID･パスワード）送付」→「スカラネット（インターネット）入力」で申込完了となります。

No	申 込 書 類	備　　考
1	奨学金申請用チェックシート	全員提出
2	確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書	全員提出　　※ 募集案内から切取り
3	スカラネット入力下書き用紙（記入済）の写し（A3 版 両面コピー）	全員提出　　※ 住所は住民票記載又は印鑑登録証明書のとおり記載
4	申請者本人及び配偶者（定職者のみ）の収入を証明する書類	本冊子５ページ「8．収入（無収入）を証明する書類について」参照
5	収入計算書 （募集案内 26，27 ページ参照）	全員提出（募集案内綴じ込み資料） ※「授業料（年間 54 万円。法務研究科は 80 万円）」＋「生活費の支出総額」を算出し，その金額の出所を収入として記入。 ※ 前期授業料免除が承認された者は，実際に支払った前期分の授業料と後期に支払う予定の金額の合計を授業料として計算する。 ※ 現在申込中の奨学金は貸与できない場合もあるので，見込額は計上しない。
6	アルバイト等収入状況申立書 （大学院様式 2）	全員提出 ※ アルバイトをしていない者も提出
7	大学院奨学金申請者学業成績確認票 （大学院様式 4）	全員提出 ※ 申請者記入欄の 1.～5. を記入
8	奨学金を振込む口座（本人名義）の通帳の写し	全員提出 ※ 銀行名・番号，支店名・番号，口座番号，名義が確認できる箇所
9	貸与中又は過去に借りた日本学生支援機構奨学金の奨学生証等の写し	該当者のみ ※ 奨学生番号が記載されている書類（奨学生証や返還確認票等）
10	地方創生枠推薦決定通知の写し	該当者のみ ※ 地方創生枠基金団体から推薦された者

6．スカラネットの入力

奨学係において申込書類を確認後，不備がなければ「識別番号（ユーザーID・パスワード）」を配付します。日本学生支援機構 WEB サイト「スカラネット入力画面」より，記入した下書き用紙を見ながら入力してください。

(1) 入力期限　　識別番号（ID・パスワード）配付時のメール本文に記載

(2) スカラネットアドレス（右記 QR コード参照）
https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/

7．採用決定通知

採用決定の連絡は，７月上旬頃に大学メール（k××××@eve（又は cs 等）.u-ryukyu.ac.jp）又は郵送でお知らせします。大学メールを「通常利用しているメール」に転送設定する等して，案内を見逃さないようにしてください。

８．収入（無収入）を証明する書類について

申請者本人とその配偶者（定職収入がある場合のみ）に関する書類を提出してください。
（募集案内 26，27 ページ参照）

＜留意点＞

① Ａ４サイズにコピーして提出してください（原本は各自保管）。
② 勤務形態や収入の種類等によっては，下記の書類以外も提出を求める場合があります。
③ マイナンバーの記載がないものを提出してください。記載されている場合は，見えないように黒く塗りつぶしてください。

	収入区分等		提出書類		発行所等
	申請者本人	配偶者	2021 年 1～12 月	2022 年 1 月～	
1	**＜給与所得者＞** ・定職 ・1 年間を通して勤務したアルバイト		・2021 年分源泉徴収票 ※ アルバイトや海外勤務で源泉徴収票がない場合は，「給与（支払）証明書（大学院様式 1-1）」を提出	転職，退職等で 2021 年分と変動（増減）が見込まれる場合は，2022 年 1 月以降の状況も提出 ※ 給与所得者は「給与（支払）証明書（大学院様式 1-2）」を提出 ※ 例：2022 年 2 月にアルバイトを始めた場合は，2022 年 2 月～2022 年 12 月の給与（支払）証明書を提出	勤務先
2	**＜給与所得者以外＞** ・商工業，個人経営等の事業主 ・農林水産業従事者 ・自由業等（弁護士，開業医，税理士等） **＜確定申告をした給与所得者＞** （2 カ所以上から給与を得た者）		・確定申告書（控） （2021 年 1～12 月分で税務署の受付印のあるもの） 又は ・市（町村）県民税申告書（控） （2021 年 1～12 月分） ※ 確定申告書に受付印がない場合は下記のいずれかを提出 ・所得証明書 ・課税証明書 ・納税証明書その 2 ・電子申告をした場合は「申告内容確認票」に「受付結果」又は「即時通知」を添付		市役所 又は 税務署
3	日本学生支援機構奨学金 その他の奨学金	―	奨学生証・貸与額通知書等（金額，支給期間等が記載されたもの）		
4	雇用（失業）保険受給者	―	雇用保険受給者証の表・裏面（支給期間・金額記載）		ﾊﾛｰﾜｰｸ
5	預貯金の取り崩し等	―	収入計算書に記入 ※ 収入が少ないため，支出の不足額を預金から取り崩している場合		
6	父母等からの給付額	―	収入計算書に父母の署名 ※ 日常生活における金銭物品，授業料・通学費等，本人に代わり父母等が支払った金額 ※ 日常生活費（食費・住居費・光熱費等）については世帯全体の年間経費を家族数で割ったものを本人への年額給付額と見なす		
7	資産等 ・預貯金 ・有価証券 ・宅地，農地，山林・建物等	―	確定申告書（控）等 ※ 経常的収入（利子，配当，賃貸料等）がある場合		税務署
8	各種手当（児童扶養手当，児童手当等）	―	各種手当を受給している場合は，支給決定通知書等，金額や支給期間がわかるもの。		市役所等
9	2021 年 1 月以降に退職した者	―	退職証明書，退職の辞令，退職時に交付された源泉徴収票（退職年月日記載）等		元勤務先

９．返還誓約書に係る入力項目について

【重要】返還誓約書とは

奨学金は貸与ですので，皆さん自身が責任を持って確実に返還することを約束するための書類として「返還誓約書」があります。奨学生として採用後は必ず提出しなければなりません。「返還誓約書」は採用後に配付します。採用後，期限までに提出しない場合は振込済額を全額返済したうえで奨学生の採用が取り消されます（募集案内 31 ページ参照）。

申込時のスカラネットに入力した内容を元に，採用後に配付する「返還誓約書」のデータ（記載内容）が作成されます。入力内容に誤りがないよう事前に入力項目を確認し，「スカラネット下書き用紙」に記入したうえで入力してください。

＜「返還誓約書」関連項目の記入・入力の注意点＞

(1) 保証制度（募集案内 17～ページ参照）

「保証制度」は次の二種類のうち，いずれかを選択してください。

人的保証	連帯保証人及び保証人を選任。奨学生本人が返還できない場合に代わって返還します。
機関保証	「人的保証」に代えて保証機関に依頼します。毎月の奨学金から保証料の支払いが必要です。

※「人的保証」を選択する場合は，連帯保証人及び保証人に借用予定金額を提示して事前に承諾を得てください。
※ 連帯保証人及び保証人を引き受けてもらえない場合は，「機関保証」を選択してください。
※ 採用後は，保証人等又は保証制度の変更（機関保証から人的保証）は認められません。

(2) 人的保証を選択する場合

連帯保証人又は保証人に選任できるのは次の方です。

連帯保証人	父又は母 ※ 父母がいない場合は，「兄弟」，「おじ・おば」等の 4 親等以内の親族 ※ 奨学生が貸与終了時に満 45 歳を超える場合は，貸与終了時に 60 歳未満	〈選任できない方〉 ○ 未成年者 ○ 学生 ○ 本人の配偶者 ○ 破産・債務整理中の者
保　証　人	父母を除く 4 親等以内の親族で，本人・連帯保証人と別生計の者（採用時 65 歳未満） ※ 奨学生が貸与終了時に満 45 歳を超える場合は，貸与終了時に 60 歳未満	

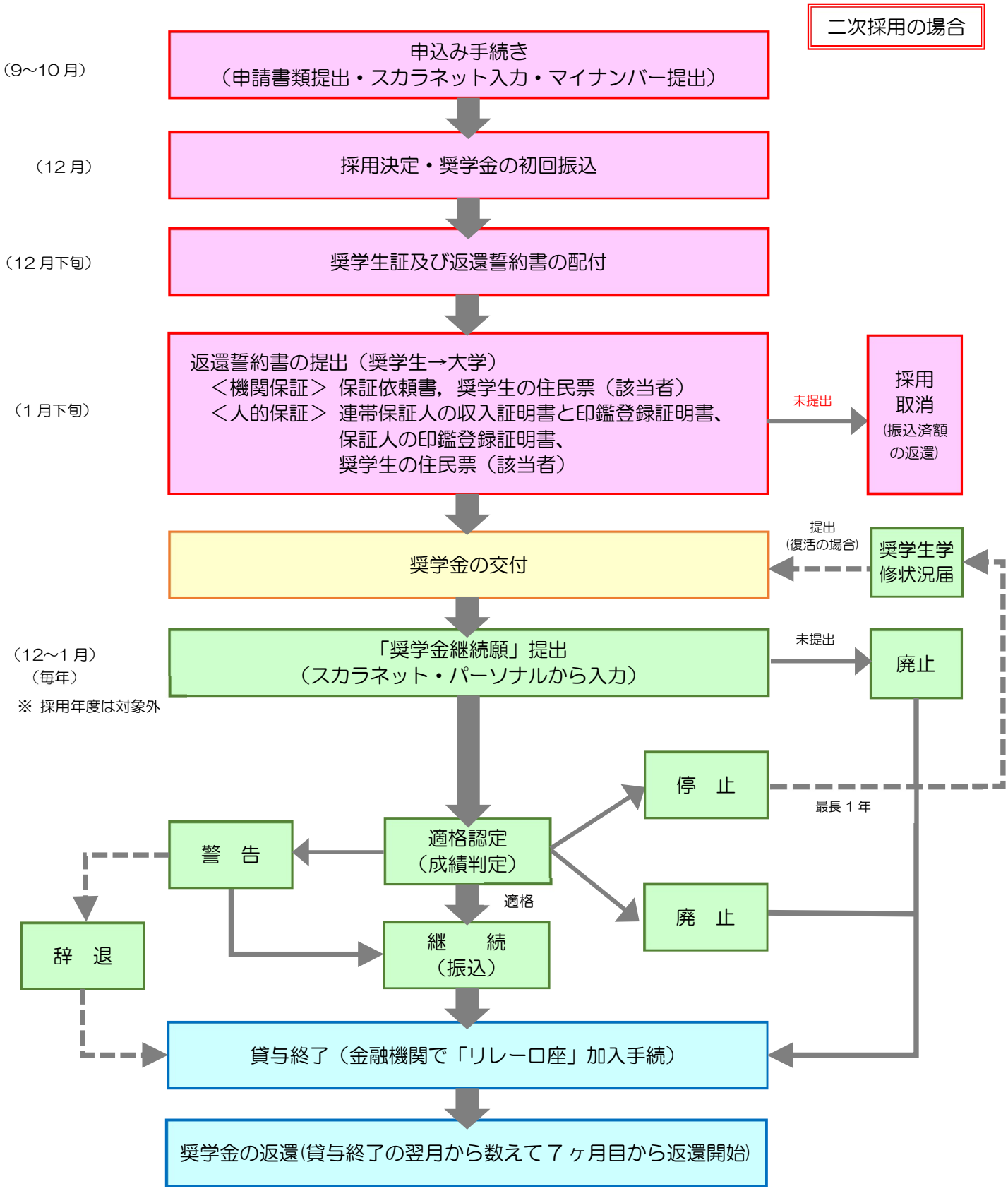
※ 連帯保証人及び保証人の住所は，印鑑登録証明書に記載された住所を入力すること。
※ 人的保証を選択された場合，採用後に返還誓約書を提出する際に連帯保証人及び保証人の「印鑑登録証明書」，連帯保証人の収入に関する証明書の提出が必要になります。

(3) 機関保証を選択する場合

本人以外の連絡先

例）父又は母の連絡先を記入（住民票住所とその郵便番号を事前に確認）

奨学金申込みから採用、貸与終了までの流れ



※ 大切な手続きに関する情報は，大学のホームページや掲示板，個人宛大学メール（k××××@eve（又は cs 等）.u-ryukyu.ac.jp）でお知らせします。
※ 重要な情報を見落とし必要な手続を取らない場合は，奨学生の資格を失いますことにご留意ください。

（大学院様式 1-1）

※ 勤務先の源泉徴収票等が発行できない場合にこの様式を使用してください。
（複数枚提出する場合は，コピーして使用してください）

給与支払証明書（2021 年 1 月～12 月分）

奨学金申請者	研究科名	
	学籍番号	
	氏名	

琉球大学へ奨学金を申請するため，給与受給状況について証明してくださいますようお願いします。

記

給与受給者氏名		奨学金申請者との続柄（いずれかに〇）	本人 ・ 配偶者等
採用年月日	（西暦） 年 月 日	退職年月日	（西暦） 年 月 日
雇用形態	☐ 正規職員 ☐ 非正規職員（ ）		
年間収入額	（西暦）2021 年 月 日 ～ （西暦）2021 年 月 日 （12 ヶ月）		
	年間 円		
	※ 税込金額（源泉徴収票の支払い金額に相当する金額）を記入してください。		

※ 年間収入額は，2021 年 1 月～2021 年 12 月の支払い金額を記入してください。

上記のとおり証明します。

証明日（西暦） 年 月 日
住所
事業所名
証明者氏名 印
連絡先（TEL）

【お問い合わせ】琉球大学学生部学生支援課奨学係（TEL：098-895-8136）

（大学院様式 1-2）

※ 勤務先の源泉徴収票等が発行できない場合にこの様式を使用してください。
（複数枚提出する場合は，コピーして使用してください）

給与支払（見込）証明書（2022 年 1 月～12 月分）

奨学金申請者	研究科名	
	学籍番号	
	氏名	

琉球大学へ奨学金を申請するため，給与受給状況について証明してくださいますようお願いします。

記

給与受給者氏名		奨学金申請者との続柄（いずれかに〇）	本人 ・ 配偶者等
採用年月日	（西暦） 年 月 日	退職年月日	（西暦） 年 月 日
雇用形態	☐ 正規職員 ☐ 非正規職員（ ）		
年間収入見込額	（西暦）2022 年 月 日 ～ （西暦）2022 年 月 日 （2022.1 月～12 月）		
	年間 円		
	※ 税込金額（源泉徴収票の支払い金額に相当する金額）を記入してください。		

※ 年間収入額は，2022 年 1 月～2022 年 12 月の支払い見込金額を記入してください。

上記のとおり証明します。

証明日（西暦） 年 月 日
住所
事業所名
証明者氏名 印
連絡先（TEL）

【お問い合わせ】琉球大学学生部学生支援課奨学係（TEL：098-895-8136）

（大学院様式 2）

琉球大学長　　殿

（西暦）　　年　　月　　日

アルバイト等収入状況申立書

奨学金申請者	研究科名	
	専攻名	
	学籍番号	
	氏名	

奨学金の申請に当たり，私のアルバイト等の収入状況は下記のとおりです。

記

１．前年の状況

(1) 私は２０２１年１月～１２月の間にアルバイト等をして　**□ いる**　　**□ いない**

(2) アルバイト等の収入内容

アルバイト先	職業(内容)	週当たり時間	年間受給総額	勤務期間
計				

２．当年の状況（出願時以降の予定も含む）

(1) 私は２０２２年１月～１２月の間にアルバイト等をして　**□ いる**　　**□ いない**

(2) 申請時現在，アルバイトをして　**□ いる**　　**□ いない**

(3) アルバイト等の収入内容

アルバイト先	職業(内容)	週当たり時間	年間受給総額	勤務期間
計				

※ ２０２１年分の源泉徴収票，確定申告書の控又は給与証明書等を提出する。
※ ２０２２年から始めたアルバイト等については，給与見込証明書等を提出する。
※ 申込書類提出後に当年の状況が変更になった場合は，速やかに申し出ること。
※ 本学のＴＡ，ＲＡ又はチューターの場合は，「年間受領総額」の記入及び証明書類の提出は不要（奨学係が確認）。

（大学院様式 3）

※ 勤務先所定の退職証明書が発行されない場合は，この様式を使用してください。
（複数枚提出する場合は，コピーして使用してください）

退　職　証　明　書

奨学金申請者	研究科名	
	学籍番号	
	氏　　名	

琉球大学へ奨学金を申請するため，下記のとおり証明してくださいますようお願いします。

記

退職年月日（西暦）　　年　　月　　日

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明日（西暦）　　年　　月　　日

住　　所

事業所名

証明者氏名　　印

連絡先（TEL）

【お問い合わせ】琉球大学学生部学生支援課奨学係（TEL：098-895-8136）

（大学院様式 4）

大学院奨学金申請者学業成績確認票

（2022 年度）

＜申請者記入欄＞

１．申請者氏名	
２．学 籍 番 号	
３．年　　次	年　次
４．研 究 科 名	研究科　　専攻
５．学　　種	☐ 修士・博士前期　☐ 博士・博士後期　☐ 専門職大学院

…… 以下、申請者は記入不要 ……

＜大学院記入欄＞

６．学　　力　　※ (1)及び(3)の該当する☐に☑してください。

上記の者について

(1) ☐ 大学の学業成績
☐ 大学院入学試験等の成績 により、(2) ☐ 第一種奨学金
☐ 第二種奨学金
の学力を (3) ☐ 適
☐ 不適
と認めます。

（「６．学力」確認時参考）日本学生支援機構の学力基準		
区 分	第一種又は併用（一種と二種の両方）	第二種
専門職学位課程 修士・博士前期課程	大学等・大学院における成績が特に優れ，将来，研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ①大学等・大学院における成績が優れ，将来，研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり，学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。
博士・博士後期課程 （医学研究科を含む）	大学・大学院における成績が特に優れ，将来，研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ①大学・大学院における成績が優れ，将来，研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり，学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

大学院生用

奨学金申請用チェックシート（全員提出）

大　学 記入欄	受付 日		不備 状況	・不備あり ・不備なし （解消済）	パスワード 配付日	

研究科名	研究科　　専攻		
課　　程	☐ 修士・博士前期・専門職　☐ 博士・博士後期　☐ 博士後期（医学）		
氏　　名		年　　齢	歳
学籍番号		年　　次	年次
電話番号	（自宅）　（携帯）		
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ			

※ 奨学係から追加で書類提出を依頼する場合があります。

該当する☐に☑を付してください。

申請者 ﾁｪｯｸ欄	確　認　事　項	大　学 記入欄
☐	**本年度（4 月以降）に採用となった奨学金がありますか。** ☐ 第一種　☐ 第二種　☐ 該当なし　☐ 採用されたが辞退した	
☐	**財団等の奨学金が「貸与」の場合，日本学生支援機構との関係性を教えてください。** ☐ 併用支給を認めている ☐ 併用支給は認めていない（両方採用された場合は，どちらかの採用取消手続きが必要）	
☐	**その他の奨学金に申し込んでいますか。**　☐ はい　☐ いいえ 奨学金の名称（　　）	

準備・確認ができたものは，☐に☑を付してください。

提出書類 の種類	申請者 ﾁｪｯｸ欄	確　認　事　項	大　学 記入欄
確認書兼個人信用情報に関する同意書	☐	**記入漏れはないですか。** ・課程の欄は，修士課程/博士前期課程・博士課程/博士後期課程・専門職学位課程（法務研究科・教育学研究科）を記入 ・鉛筆書き，消すことのできるボールペンの使用不可 ・住所は現住所（沖縄の住所を記載）	
スカラネット入力 （「人的保証」の場合のみ）	☐	**「連帯保証人」は，原則父母を選任していますか。** ※ 事情により父母を選任していない場合は，収入条件を満たしているか確認 ・給与所得者：年間収入金額 ≧ 320 万円 ・給与所得者以外：年間所得金額 ≧ 220 万円 ・預貯金残高 ≧ 貸与総額 / 固定資産の評価額 ≧ 貸与予定総額	
	☐	**「保証人」は，父母を除く 4 親等以内（おじ，おば，別生計の兄弟姉妹）かつ 65 才未満の者（申請者が 45 歳以上の場合は 60 歳未満）を選任していますか。** ※ 4 親等以外若しくは 65 歳以上を選任する場合は，収入条件を満たしているか確認 ・給与所得者：年間収入金額 ≧ 320 万円 ・給与所得者以外：年間所得金額 ≧ 220 万円 ・預貯金残高 ≧ 貸与総額 / 固定資産の評価額 ≧ 貸与予定総額	
スカラネット入力 （「機関保証」の場合のみ）	☐	**（返還終了までの間に）本人と連絡が繋がらない状況となった場合に備え，連絡が取れる者を選任していますか。**	

大学院生用

提出書類の種類等	申請者ﾁｪｯｸ欄	確　認　事　項	大　学記入欄
スカラネット入力 「あなたの所得情報」	□	**収入計算書で整理した金額を入力していますか（収入計算書も提出書類です）。** ※ 複数アルバイトがある場合は，辞めているアルバイトを一つにまとめて入力 ※ 収入計算書で記入した定職・アルバイトの金額と収入を証明する書類の金額が一致しているか確認	
収入を証明する書類	□	**アルバイト等収入状況申立書（大学院様式 2）** ※ 収入が無くても全員提出必須	
	前年の収入証明書		
	□	源泉徴収票（写） ※ 辞めている場合は退職日の記載が必要	
	□	確定申告書（控）の（写）（税務署の受付印のあるもの）（　　年分）	
	□	給与支払証明書（大学院様式 1-1）	
	□	退職証明書（大学院様式 3） ※ 収入金額が記載されている書類と併せて提出	
	□	所得証明書（定職者のみ）	
	□	その他（書類の名称：　　）	
	本年の収入証明書		
	□	給与支払（見込）証明書（大学院様式 1-2） ※ 前年の途中から勤め始め，本年も引き続きしている場合も提出が必要（定職者も同様）	
	□	給与明細書（直近 3 か月分） ※ 給与支払（見込）証明書（大学院様式 1-2）が提出できない場合はこれを提出	
	□	退職証明書（大学院様式 3） ※ 申込時点にいて辞めている場合は，退職証明書が必要	
	□	その他（書類の名称：　　）	
配偶者の収入を証明する書類	**添付した書類に☑を付してください。**		
	□	源泉徴収票（写）　（　　年分）	
	□	確定申告書（控）の（写）（税務署の受付印のあるもの）（　　年分）	
	□	退職証明書（大学院様式 3）　（　　年分）	
	□	その他（書類の名称：　　）	
大学院奨学金申請者学業成績確認票 （大学院様式 4）	□	**「1. 申請者氏名」，「2. 学籍番号」，「3. 年次」，「4. 研究科名」及び「5. 学種」を記入して提出してください。** **※「6. 学力」は記入不要で，指導教員への確認も不要です。**	
通帳の写し	□	**本人名義の通帳(写)に銀行名，店名，口座番号，名義が記載されていますか。**	
機構奨学生証（写） （該当者のみ）	□	**現在貸与中又は過去に借りていた奨学生番号が分かるものを準備してください。** 「奨学生証書」，「返還確認票」，「貸与額通知書」，「ｽｶﾗﾈｯﾄ･ﾊﾟｰｿﾅﾙ（詳細情報画面）」 ※ 過去に他大学で奨学金を貸与していた場合は，再貸与の適用可否を確認しますのでお知らせください	